



株式会社 永沢工機

「改善」と「挑戦」で時代のニーズに果敢に応える

当社は、鉄やアルミ、ステンレスなどの金属を加工し、さまざまな形状の精密板金加工を行う企業です。

お客様の信頼と期待、満足に応えるべく、常に一歩先を照らす改善提案活動を続けながら、技術、働く環境、個々のマインドを進化させています。

特に「改善」は、よりお客様の立場に立ったものづくりに欠かせないものです。変化の時代に応える技術と機械で、複雑な加工にも対応し、板金だけでなく設計、組み立てなども視野に入ながら、多様な連携で社会のニーズに応えます。

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

FUKUSHIMAものづくり企業ファイル(No.21)



▲溶接による作業

【会社概要】

所在地：福島市飯坂町平野

代表者：代表取締役

ながさわ こうぞう
永沢 耕三

設立：昭和40年4月

資本金：1,000万円

社員数：53人

主力事業：精密板金加工、
レーザー加工など

連絡先：☎542-3190

■問／商工業振興課

☎525-3721

クローズアップ

🔥板金加工屋が作る、本格派たき火台！

板金加工の技術を生かして、アウトドアブランドを立ち上げました。最新技術を駆使した精密なレーザー加工によって、他で見られない緻密なデザインのたき火台を制作しました。



▲たき火台はふるさと納税の返礼品にも

開発のきっかけとなったのは、若い社員からの提案でした。社員の思い描いたたき火台を実現するために、ベテラン勢も知恵を絞りました。



インタビューに答える▶
代表取締役の永沢社長



▲株式会社永沢工機のホームページはこちらから

We Love♥
ふくしま！

第66回

「信夫山公園150周年」



令和6年、いたましい幕開けとなつてしまいました。能登半島地震により、多くの方々が亡くなり、今も多数の方が真冬の寒さの中で不自由な生活をされており、心が痛みます。一日も早く平穏な日常が戻ることを祈り、できる限りの支援をしていきたいと思えます。

さて、今年には信夫山公園が開園150周年を迎えます。

信夫山は、全国的にも珍しい街の中心にある里山で、歴史と信仰、伝説の山、文学の山、自然の宝庫、市民の憩いの場など、多彩な顔をもつ福島市のシンボルです。

私は、烏ヶ崎からの眺望が好きで、信夫山に漂う靈験あらたかなパワーを感じながら、眼前に広がる景色を眺めると、体中に力が満ちてくるような気がします。

改めて信夫山について整理してみると、仏教伝来で名高い欽明天皇の皇后と皇子が、皇位継承争いに敗れて逃れ住んだ歴史や、平安の昔から憧れの山として歌枕に詠まれたことなど、信夫山は古来、中央の人々にも存在感があったことがうかがわれます。

また、皇子と皇后の家来である六供、七宮人の子孫が1500年もの間、信夫山に住み続けてきたこと、「となりのトトロ」のオープニングソングが信夫山のイ

メージから生まれたという逸話、噴水広場の土木遺産「旧菟川橋」は古閑裕而さんの曾祖父三郎治さんが奇進したこと、終戦間際、軍の秘密地下工場に活用された金鉱跡があることなどは、もつと知ってほしいものです。

150周年では、2月10日の信夫三山眺まいりと福男福女競走を皮切りに、「学び、遊び、ひるげる」をテーマとしたさまざまな記念事業を展開します。信夫山にちなんだ民間事業も、ロゴマークの使用などが可能な「冠事業」として積極的に実施してほしいと考えています。これらの事業を通じ、改めて信夫山のすばらしさを体感してください。

150周年を機に、信夫山をさらに魅力アップし、また信夫山に由来する健脚や縁結びを太い文化にして、シンボルとして一層親しんでいきたいと思えます。そして、信夫山にて願うこと。何よりも、今年が平穏な年になりますように！

福島市長 木幡 浩



▲烏ヶ崎展望デッキから望む市街地